

あけびだより

No. 234

2024年4月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

令和6年4月



絵画教室

芹澤登代子氏

「3月8日 国際女性デー」の記事に触れて

「国際女性デー」 いつもなら聞き流してしまう言葉が耳に残りました。ジェンダー平等と介護現場がどうかかわるのかと思うのですが、男性と女性の賃金格差をなくせるのは介護現場ではないだろうか。

2025年問題、2040年問題が迫る中、介護士不足は深刻と叫ばれています。介護士不足にはいくつかの原因がありますが、その一つと考えられている低賃金問題はいつまでたっても解決されません。人材不足に歯止めがかからないのが現状、でもどうして介護士の給料が上がらないのか・・・介護事業所の最も大きな収入を占める介護報酬は「公定価格」（国の経済を統制するために国により決められた価格）のことで、これにより国が定めた介護報酬でしか請求することができません。つまり介護事業者は利用者に請求できる額に制限があり、どれだけ創意工夫し、収入増に励んでも収入の上限が決まっているのです。

介護は女性の仕事だと思われる方も多いかと思いますが、男性との役割が違うことで、男性介護士にとってもやりがいのある仕事だと思えます。もっと男性介護士が増えて欲しいと思いますが、低賃金問題が立ちどころです。「男性は家計を支えている」から高くと思いがちですが、女性も同じです。“子育て支援や介護といった問題は、全て政治につながっているのに、そのルールを決めている国会や地方議会に、実感を持った女性の視点が足りない。虐待や貧困など困難を抱える女性の声を形にするためにも、女性議員が必要ですが、女性には資金面や家族の反対などあらゆる壁がたちだかっています。”

“日本の男女格差を示すジェンダーギャップ指数は、先進国で最下位が続いています。日本の国会では女性議員はわずか10.3%で、186カ国中165位と大きく立ち遅れています。”

という記事を読みました。

私自身、正直に言うと日常生活の中で“ジェンダー平等な社会を”と意識したことがあまりなかったです。ですが、国際女性デーの記事を見聞きし、介護現場に照らし合わせて考えてみると決して他人事ではないなと気づきました。まずは、自分に出来ることを考えるところから始めてみようと思えました。老後が安心して暮らせませうに!! (O/K)

認定・特定非営利活動法人あけび

認定・NPO法人あけび 事務所

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

グループリビングあけびの里

TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

Mail: day@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3

TEL079-280-6931 FAX079-280-6932

Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの輪

〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1

TEL079-284-0055 FAX079-284-0056

Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

訪問看護ステーションあけび

〒672-8064飾磨区阿成植木836番地A号

TEL 079-262-6708 FAX 079-240-6765

Mail: houkan@akebi.or.jp

訪問介護ステーションあけび

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

Mail: akebi-herupa@akebi.or.jp

あけびの実

誕生会



♪菜の花ドライブ
送迎に見つけた
夢前町の菜の花畑
に行ってきました。
一面に広がる黄色
のじゅうたんにうっ
とり〜(^_^)♪



♪外出行事
コロナの規制も緩和したので、3月のお誕生会を兼ねてファミレスへ出掛けました。美味しいパフェやケーキをご自身で選んで頂き、おしゃべりの花も満開。久しぶりの「全員外出」にワクワクが止まりませんでした。

♪制作 桜
お花紙で満開の桜をイメージしました。開花宣言が待ち遠しいですね。



♪ブローチ作り
以前、手芸教室をされていた利用者様にぶどうのブローチを教えて頂きました。細かい作業に苦戦しました

♪日光浴と歩行練習
お天気の日には日光浴を兼ねて安全な駐車場をイチ、二、イチ、二、リズムよく歩いています。

が、素敵なオリジナルブローチが完成!



♪レク
朝の会でみんなで話し合い午後からのレクを決めています。オセロや卓球など頭を使ったり体を動かしたりと皆さん意欲的です。



♪脳トレ
体操の後は脳の活性化の為、取り組んでいます。難しい問題も仲間同士で考えると…不思議! 解けるのです。



お出かけ

あけびの輪



★菜の花畑へお出かけしました。一面黄色の大海原で綺麗でした。ビタミンカラーから元気もらいました。

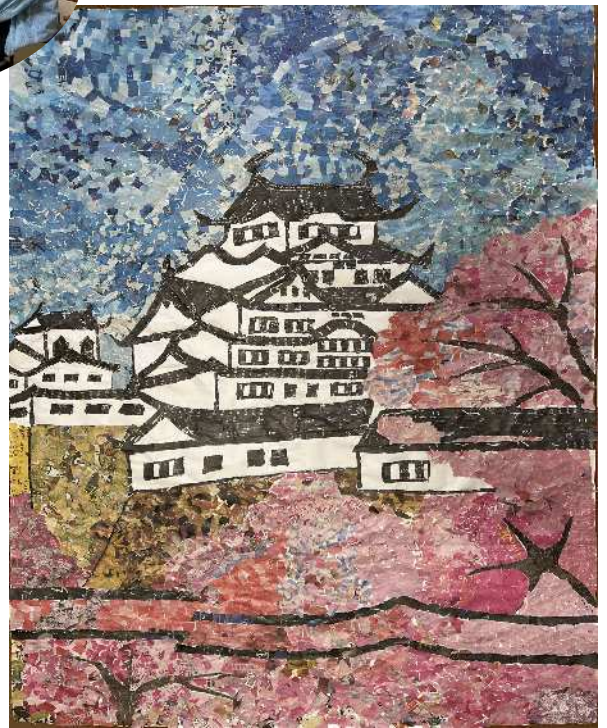


★曾根天満宮へ梅見にお出かけしました。紅白の梅が、青い空に映えてとても美しかったです。

誕生会



★3月の誕生会は、喜峰会さんに三味線演奏をご披露して頂きました。童謡から民謡・ナツメ口と皆さんにとっての子ども時代や若い頃を思い出され一緒に歌って楽しい時間を過ごす事ができました。



★今月のちぎり絵は、満開の桜を身にまとう、姫路城です。あけびの輪では、毎月季節のテーマを決めて制作しており、この春で4年目を迎えます。どんどんレベルアップし、見応えのある作品に仕上がりました。



幸子 橋本幸子氏



千満 田中千満氏



一正 光岡一正氏

★習字教室。「さんが「すくらお」に『我唯定知』という言葉が載っていたので、書きたいとリクエストをされたので先生にお願いしてお手本を書いて頂きました。、「自分は満ち足りているということだけ知っている 足りることを知る心は心穏やかであり 足りることを知らない人は心はいつも乱れている」という意味があるそうです。



★ひな祭りのごちそうは、「お花畑」のような押し寿司でした。

川柳



「患者第一」忘れずに NPO法人「あけび」



指を曲げ伸ばしする体操に取り組むデイサービス「あけびの輪」の利用者たち—姫路市南条1

手足が震え、徐々に動かなくなる難病「パーキンソン病」の患者の受け入れ施設を運営するNPO法人「あけび」(姫路市飾磨区細工)が今年4月、設立20周年を迎える。「病気で苦しんでいるのは一人じゃないんだ。患者と家族に集いの場を提供し、明るい気持ちになってもらった。理事長の林幸子さん(75)は「たくさんの人との出会いと別れがあった」と涙を振り返る。(成 将希)

事業所5カ所、利用者150人

パーキンソン病患者やその家族らでつくる「全国パーキンソン病友の会」の播磨地域の会員約20人が集まり、小規模作業所として発足した。

呼びかけ人で、自らも49歳のときに診断を受けた木村美穂さん(75)は「患者と家族の会」の立ち上げに力を入れた。スタッフが夕飯を持って行ってあげたり、一緒に旅行に行ったり、家族みたいな感じだったと

また、パーキンソン病が

20年がたった今、運営す

村美穂さん(75)は「患者知られておらず、患者自身も病気に関する知識が不足していた。病院から脳神経内科医や理学療法士を招き、最新の治療法を学ぶ機会も年数回のペースで開いた。」

「顔が地面に着くくらい腰が曲がってしまっ。病院に行ったらパーキンソン病だと言われたんです。病気がついて何も知らなかったという、医師に「あけびの輪」を紹介された。

筒井さんは、他の利用者さんやスタッフに話しかけやすい雰囲気が入り、通うことを決めた。服薬やリハビリの効果もあって腰痛は治まったという。難病だからといって暗くなったりはしない。明るい日々を過ごしている」とほほ笑む。

林さんは20年前と現在を比べて「利用者も増えて、昔のようにきめ細かなケアをしにくくなった」と課題を挙げる。木村さんも「患者第一」の原点を忘れずに

「あけびの輪」は「患者と家族に集いの場を提供し、明るい気持ちになってもらった。理事長の林幸子さん(75)は「たくさんの人との出会いと別れがあった」と涙を振り返る。(成 将希)

事業所は5カ所に増え、計150人ほどが利用する。通所介護施設「デイサービスあけびの輪」(同市南条1)には約50人が通う。手足を大きく曲げ伸ばしするリハビリ体操が昔の目録だ。「しんどい」という言葉とは裏腹に、利用者たちの表情は明るい。

通って10年になる筒井順子さん(81)は「顔が地面に着くくらい腰が曲がってしまっ。病院に行ったらパーキンソン病だと言われたんです。病気がついて何も知らなかったという、医師に「あけびの輪」を紹介された。

筒井さんは、他の利用者さんやスタッフに話しかけやすい雰囲気が入り、通うことを決めた。服薬やリハビリの効果もあって腰痛は治まったという。難病だからといって暗くなったりはしない。明るい日々を過ごしている」とほほ笑む。

林さんは20年前と現在を比べて「利用者も増えて、昔のようにきめ細かなケアをしにくくなった」と課題を挙げる。木村さんも「患者第一」の原点を忘れずに

20年を迎えた「あけび」の取材に来られました。あつという間の20年でしたが、全国に広がり、家の近くにこんな施設が欲しいと言われていた患者さんたちの近くにも、実現しつつあります。あけびを最初から見守ってくださっている水田先生から当初に言われた「病名より患者さんの症状や希望に合わせた介護をすればいい」という言葉を今も胸に置いています。

お知らせ



医療相談会
西播磨病院
水田英二先生
日時：4月27日 [土]
13:00～(要申込)
場所：あけびの輪

パーキンソン病友の会姫路ブロック

*4月患者・家族交流会は休みます。

「卓球クラブ」4月練習日
4月9日(火) 23日(火)
場所：ルネス花北体育館
持物：上靴・ラケット
連絡先(280-6931)

*法人 第20期の総会を開きます。

[日時] 5月26日(日)13:00~15:00
[場所] あけびの実
ご意見ご要望があればお寄せください

お願い



賛助会員及び会費のお願い

あけび20年を迎えました。昨年は、コロナの影響も考えながらの20周年記念講演会を、皆様のおかげで開催することが出来ました。神経難病の広報としての意識を職員に持ってもらいたいということを一

番に考えた企画でした。その為、患者さんの要望に応えることが出来なかったこともあり、ご迷惑をおかけしたことが少し残念でもあります。入居希望者が多く、少しでもご要望に添えるようになりたいと考え、今年度はまたあらたな企画を考えて検討に入っています。皆様のお力がなければかなわないことです。今後とも温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

同封の振り込み用紙にお名前等ご記入頂き、郵便局から振込みいただければ幸いです。宜しくお願ひいたします。